

## 1. 大会の流れ



各チームでスケジュールを確認し、時間を厳守してください。

## 2. 練習走行について

- ① 二輪車クラスとグループI～IVで走行時間帯を分けて行います。  
各時間帯の出走順や周回数は定めていません。準備ができたチームからスタート前待機エリアに進み、順次走行を開始してください。

**10:50～11:05 二輪車クラス**

**11:10～11:50 グループI～IV**

- ② 練習走行はトランスポンダ(周回計測器)の動作確認を兼ねています。  
走行をしないチームもスタートラインへマシンを運び、トランスポンダの動作確認を行ってください。
- ③ 練習走行の燃料を配布します。 **ハイオク→No. 7・CN→No.10**ピットへお越しください。
- ④ 練習走行が終わったら走行の有無に関わらず、燃料タンクを**ハイオク→No. 7・CN→No.10**ピットへ返却してください。

## 3. 決勝について (スタート前)

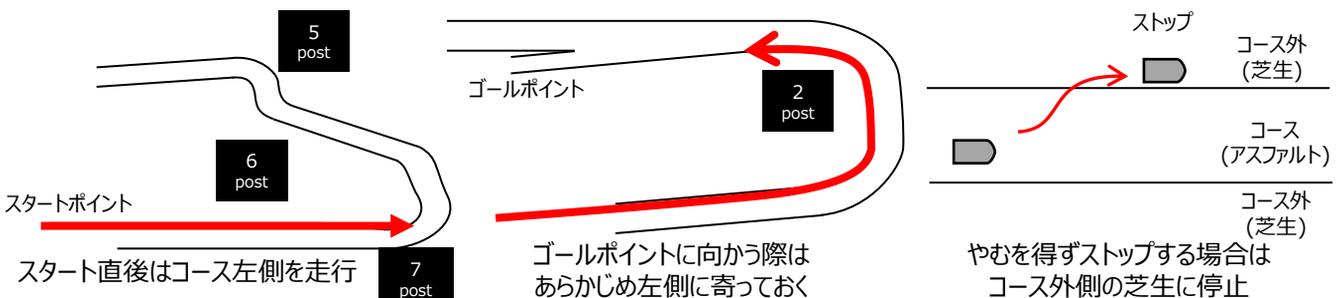
- ① 12:30より決勝用の燃料を配布します。マネージャーは決勝用チェックシートを持参し  
**ハイオク→No. 7・CN→No.10**ピットへお越しください。
- ② **燃料供給の後、No. 9ピットでスタート前の燃料計測を必ず実施してください。燃料計測を行わないと記録が算出されません。**
- ③ 競技は、二輪車クラス・グループI～IVの順で行います。  
**決勝用チェックリストを持参して、スタート目安時間の10分前までにスタート前待機エリアにて待機してください。**  
**時間内にスタートできない場合は失格となる場合もありますので、スタート時間を厳守してください。**
- ④ スタート前にエンジンを始動して実際に燃料が消費されているかどうかをオフィシャルが確認します。  
その際に消費した燃料は補充されますので、オフィシャルの指示に従ってください。
- ⑤ スタートは20～30秒の間隔で行います。  
スタートできない場合、もしくはスタートラインの前方にあるレッドラインの手前でストップしてしまった場合は1回に限り再スタートが認められます。その際はオフィシャルの指示に従い、スタート時間から10分以内に再スタートしてください。

## 4. 走行全般について

- ① 競技中、ドライバーは必ず決められた服装(長袖、長ズボン、靴)、装備品(ヘルメット、グローブ)を着用してください。
- ② スタート後は、後方の安全を確認をし、1～2コーナーを過ぎるまでは**コースの左端**を走行し他の車両の走行を妨害をしないよう注意してください。
- ③ 本大会では走行における基本ルールを、「コース内は左側走行、追い越しは右側から」とします。
- ④ 周回数や時間の管理は各チームが責任を持って行ってください。

**5周：二輪車クラス 7,289.80m(17分29秒732以内) 10周：グループI～IV 14,741.61m(35分22秒792以内)**

- ⑤ ゴールポイントへ向かう際は、急な進路変更にならないよう、早めにコースの左側へ寄ってください。
- ⑥ トラブルなどでやむを得ず車両をストップさせる場合は、コース上には止めず、後方から来る車両に注意しながらコースの外側の芝生(グリーン)に入り安全な位置で停車してください。
- ⑦ コース上でのすべての修理は、車両に搭載された工具および部品だけを使用して、ドライバー自身で行ってください。  
チーム員のコースへの立ち入りや作業の支援は禁止です。
- ⑧ コースの前半部分(7～5ポスト)はコーナーが連続しており、他の車両との接触、スピンや横転などの危険性が高くなっています。  
特に注意して走行してください。



## 5. 走行不能な車両について

- ① 練習走行、および決勝の走行において、コース上で走行不能となった車両はレッカー車で回収します。  
チーム員はNo.45ピット横の「回収車両引き渡し場所」まで引き取りに来てください。
- ② 決勝で走行不能となり再スタートできない場合は、近くのオフィシャルにリタイアの旨を伝え、車両回収を待ってください。  
※リタイア届を大会事務局(コントロールタワー3F)で入手し、記入後に事務局へ提出してください。

## 6. 決勝について (ゴール後)

- ① ゴール後はオフィシャルの誘導に従って所定の位置に停止し、チーム員2名で車両を押して速やかに燃料計測を行ってください。  
その際、燃料タンクを車両から取り外すための工具(カッターやニッパーなど)と決勝用チェックリストを忘れずに持参してください。
- ② 燃料計測を行う前に、必ず「こより」でタンク下部の管になっている部分に残った燃料を吸い取ってください。
- ③ 車両保管の対象となったチームは、**車両保管が解除となるまで車両に一切触れることができません。**
- ④ 競技終了後、トランスポンダ(周回計測器)を、No.7ピットへ返却してください。

## 7. 決勝終了後

- ① 記録認定証は正式結果が確定後、No.9ピットにてお渡しします。  
リザルトは紙での配布を行いません。  
参加者向け情報ダウンロードページからリザルトをダウンロードし確認してください。
- ② 全クラス終了後、準備が整い次第、表彰式を実施します。表彰対象のドライバーは必ず参加・登壇してください。  
表彰式は晴天の場合、コントロールタワー前で行います。雨天時はフリーングルームで行います。  
※スケジュールが早く終了した場合は、表彰式開始時間を早める場合があります。

## 8. 天候不良による競技中止について

- ① 激しい降雨でコースコンディションが悪化した場合や、落雷の恐れがある場合は競技を中断もしくは中止することがあります。
- ② コース上ではレッドフラッグ(赤旗)を振って競技の中断をドライバーへ知らせます。  
レッドフラッグを確認したらゴールポイントへ向かってください。
- ③ チーム員はピット内など屋内に避難し、場内放送の指示に従ってください。
- ④ ピットレーンでは飛散の可能性があるので傘の使用はできません。

## 9. 燃料(ガソリン及びタンク)の取り扱いについて

- ① 燃料タンクの取り付け部分は破損しないよう、パイプの脱着は丁寧に扱ってください。(破損時は¥22,000を請求いたします)
- ② 燃料タンクの車両取付け前と取付け後は、タンクコックの緩みがないか、必ず複数の人で確認してください。
- ③ ガソリンは火災の原因になりますので、特に注意して取り扱ってください。  
万一の火災に備え、ピット内の消火器の位置と使い方をあらかじめ確認してください。

## 10. 参加者・チーム員について

- ① 燃料供給、燃料計測、スタート前待機エリアなどへ向かう際は、クレデンシャルを常に携帯してください。
- ② ピットサインエリアへ入場の際は、走行車両に十分注意して走行の妨げにならないよう注意してください。
- ③ 必ずチーム員の誰かが場内放送を聞く役割を持ち、アナウンスに従えるようにしてください。
- ④ 気温・湿度の上昇が予想されますので体調管理に注意してください。

**特にドライバーは休息とスポーツドリンク等をこまめにとって熱中症予防に努め、  
チーム員を含めて気分が優れない方は、パドック内にあるメディカルセンターを受診してください。**



**参加者向け情報ダウンロードページ**

競技規則、公式通知、各種書類、リザルトはこちらから入手してください。

**再度、競技規則やチームマニュアルなどを確認し、不明な点がない状態で競技に参加するようお願いいたします。**

## 【補足①】 本競技に使用するフラッグ (規則書より抜粋)

本競技に使用するフラッグは以下の通りです。

チーム全員でしっかりと把握し、特にドライバーは走行中に見落としがないよう注意し、各フラッグのルールを遵守してください。

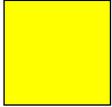
### 【スタートフラッグ】



競技スタート

スタートフラッグが振り上げられたら、10秒以内にスタートしなければならない。

### 【イエローフラッグ (黄旗)】



危険予告・安全確認・前方注意

前方で競技車両が停止しているなど、危険予告をしている。

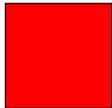
前方を十分注意しなければならない。

### 【ブルーフラッグ (青旗)】



スピードの速い車両が追い越そうとしているので、進路を変えず、後方を注意しなければならない。

### 【レッドフラッグ (赤旗)】



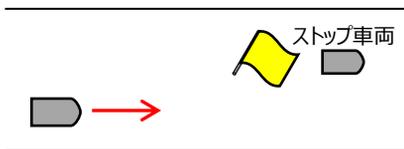
競技の中断または中止を示す。対象者(ドライバー)は、十分注意してゴールポイントへ向かう。

### 【チェッカーフラッグ】



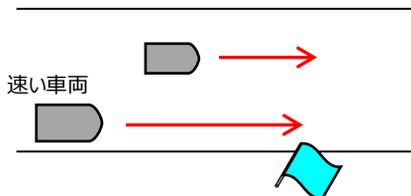
競技終了

### イエローフラッグ (黄旗)



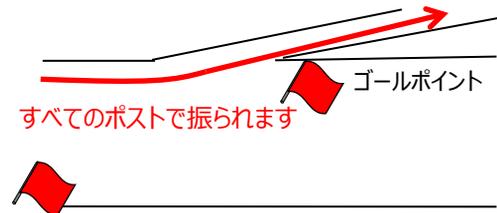
コース上の危険な場所の手前で振られます。  
前方に注意して走行してください。

### ブルーフラッグ (青旗)



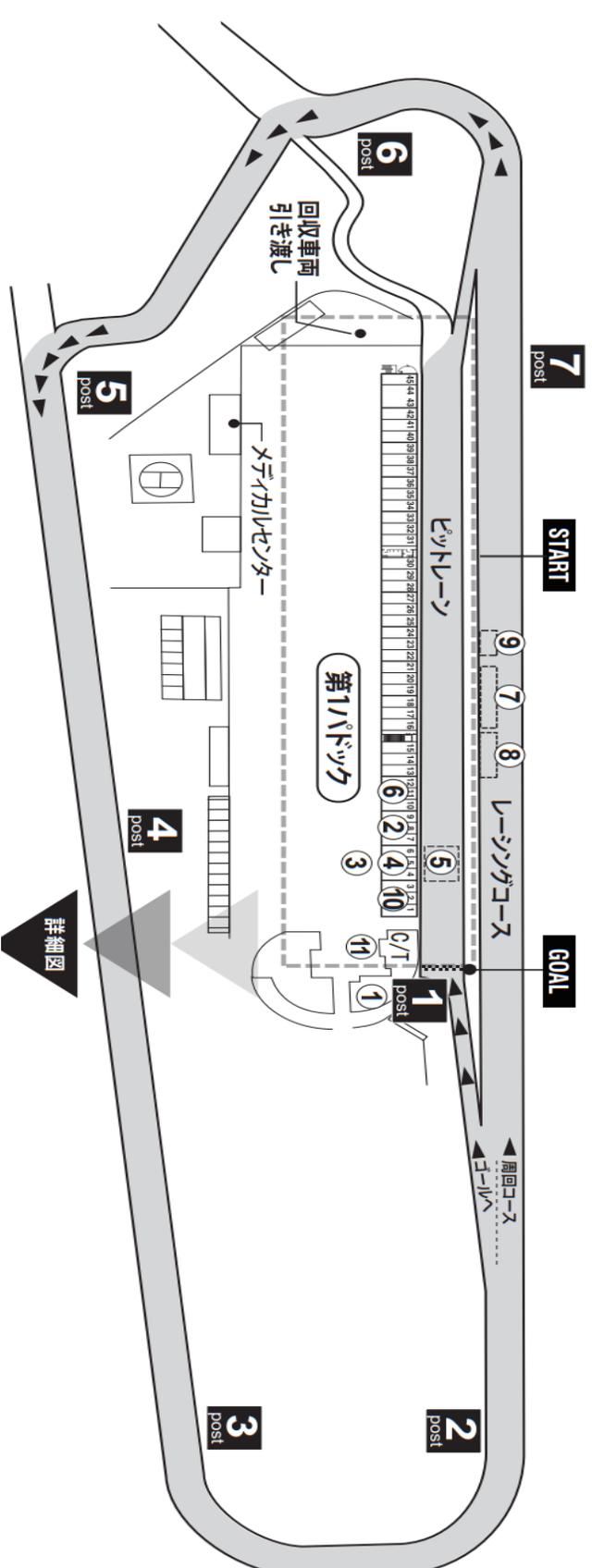
後方から速い車両が近づいています。  
進路変更をせず、  
後方や左右を確認して走行してください。

### レッドフラッグ (赤旗)



競技は一時中断となります。  
ゴールポイントへ向かってください。  
場内放送の指示に従ってください。

## 【補足②】走行にあたっての注意点



7ポストから5ポストにかけてはコーナーが連続し、特に7ポストを過ぎると下り坂になっているため接触やスピン、横転の危険性が高まります。

6ポストから5ポストにかけては上り坂で失速しやすいため、特に注意して走行するように心がけてください。なお、ゴール(ピットレーン)へ向かう際には、あらかじめ4ポスト付近より左側走行し、急な進路変更を行わないよう注意してください。

ゴールの周回数は各自が管理・カウントしてください。二輪車クラスは5周目、それ以外のクラスは10周目にそれぞれピットインし、クイックリターンへ向かってください。